

としよだより



そつぎょう
ご卒業おめでとうございます。

みなさんにとって6年間(6ねんかん)はどんな日々(ひび)だったでしょう。うれしかった事(こと)つらかった事(こと)、色々(いろく)あったと思います。それらが吸収(あきゅう)されて、気づか(きづ)ないうちに「自分(じぶん)」は作(つく)られてきました。そんな「自分(じぶん)」ってどう(どう)いう人(ひと)でしょう。周(まわ)りの人(ひと)から思(おも)われている「自分(じぶん)」と、自分(じぶん)が思(おも)っている「自分(じぶん)」。中学生(ちゅうがくせい)になると、ますます自分(じぶん)を考(かん)えることが増(ふ)えます。

なりたい「自分(じぶん)」づくりを自(み)指(し)すとき、本(ほん)が助(たす)けてくれることがあ(あ)ります。その本(ほん)は、すぐ見(み)つかる時(とき)もあ(あ)れば、時(じ)間(かん)がかか(か)る時(とき)も。人(ひと)と同じ(おな)じく、外(あ)見(み)と中(ちゆう)身(みん)が予(よ)想(さう)と違(ちが)うこと(こと)もあ(あ)ります。中(ちゅう)学(がく)校(こう)の図(ず)書(しょ)室(しつ)では、色(いろ)々(ざ)な本(ほん)を手(て)に取(と)っ(と)ってお気(き)に入(い)りを探(さが)してみ(み)てくだ(くだ)さい。その本(ほん)は、ネッ(ね)ッ(と)や動(どう)画(が)では味(あじ)わえな(な)い、あな(あ)たの強(つよ)い味(あじ)方(かた)にな(な)ると思(おも)いますよ。



みなさんにおすすめする本 ～新しいスタートに向かってがんばれ!～



山口先生から
深く
考えさせ
られます



高萩先生から
猫好きは絶対読む
べきです!
優しい気持ちに
なれます



吉田先生から
心が
整います

ぼくを探しに
作：S. シルヴァスタイン
出版：講談社

何かが足りない
それでぼくは楽しくない
足りないかけらを探しに行く
ころがりながらぼくは歌う
魅力的で心にしみるイラスト物語

なまえのないねこ
文：竹下文字 絵：町田尚子
出版：小峰書店

みんな持っている「名前」にあこがれて
いるひとりぼっちの猫。ある白寺の猫に
「自分で好きな名前をつければいい」と
言われ、名前を探(さが)すこと(こと)に。猫(ねこ)が見(み)つ(つ)け
た「ほんとうに欲(ほ)しかったもの」とは?

心を整える。
著：長谷部 誠
出版：幻冬舎

一勝利をたぐり寄せるための56の習慣—
サッカー日本代表キャプテン・長谷部誠。
選手として突出した武器をもっているわ
けではない彼が、なぜあらゆる指揮官に
重宝され、勝利を呼びこむのか…?



小笠原先生から
好きこそ物の
上手なれ



江口先生から
がんばることの
大切さを
おし
教えられる



吉川先生から
ローカルネタが
たくさん!

あたまにつまった石ころが
文：キャロル・オーティス・ハースト
出版：光村教育図書

切手にコイン、ジュースのふた。みなさ
んも集めたことありませんか?わたしの
父は石を集めていました。「石ころじゃ
あ、金にならんぞ」まわりの人は言
いました。ところが…。

あの空を
著：菊田まりこ
出版：学研

大空を飛ぶことにあこがれるヒヨすけ。
色(いろ)々(ざ)な迷(まよ)いながらも、けなげに努力(どりょく)
する姿(すがた)が愛(あい)らしい。がんばっている、全
ての人(ひと)へ届(とど)けたいというメッ(め)ッ(と)ジが
心(こころ)に響(ひび)く。

神奈川のおきて
編：神奈川県地位向上委員会
出版：アース・スターエンターテイメント

お土産には「ありあけのバーバー」
家庭ごとにお気に入りの「海水浴場」
がある…。永遠の関東ナンバー2(!?)
神奈川県の愛すべきあるあるネタ49
を大公開。

みなさんに贈る詩



はじまりの日

ボブ・ディラン 作

きみが 手をのばせば
しあわせに とどきますように

きみのゆめが いつか
ほんとうに なりますように

まわりの 人びとと
たすけあって いけますように

毎日が きみの はじまりの日
きょうも あしたも
あたらしい きみの はじまりの日

やくそくを まもって
うそを きらいますように

このひろい 世界が
きみの目に 光りますように



背を まっすぐのばして
いつでも 勇気がもてますように

毎日が きみの はじまりの日
きょうも あしたも
あたらしい きみの はじまりの日

きみの手が ずっと
はたらきつづけますように

きみの足が とおくまで
走っていけますように

なが 流されることなく
流れを つくりますように

きみの 心のうたが みんなに ひびきますように

毎日が きみの はじまりの日
きょうも あしたも
あたらしい きみの

はじまりの日

卒業
おめでとう!



「はじまりの日」 作 ボブ・ディラン
絵 ポール・ロジャース
訳 アーサー・ピナード
出版 岩崎書店

この詩の作者のボブ・ディランは、アカデミー賞など数多くの音楽の賞を取っている有名なアメリカの歌手です。彼は、みなさんが小学校に入る前の2016年に、ノーベル文学賞を受賞しています。

歌手なのに文学賞？と思うかもしれませんが。そのとおり、歌手としては初めてでしたし、当時は様々な意見が飛び交っていました。ですが、かれの歌詞は『アメリカの歌の伝統の中で、新しい詩的表現を創造した』（ポプラディア人物事典より）として、その偉大さが認められたのです。

左側のみなさんに贈る詩は、かれの歌詞を絵本にした「はじまりの日」という本にのっています。その歌「Forever Young」は、ディランが自分の息子を思いながら、作ったそうです。よかったら、いつかきいてみてくださいね。

司書佐々木から 人間関係

ってむずかしい!

君たちはどう生きるか

作：吉野源三郎 絵：羽賀翔一
出版：マガジンハウス



自分の生き方を決められるのは自分だけ。人間としてあるべき姿を求め続けるコペル君と叔父さん。なやめる中学生が自分を考える本。名著の漫画化。

小学校6年間、たくさんの「はじまり」をめぐりぬけてきましたね。次のステージも自分を信じて進みましょう！（祇えん隊 佐々木）